

2023. 03. 24

地域の元気応援プロジェクト成果発表会

「小原の憩いの場」 デザインプロジェクト

【教員】

田 中 貴 宏

(先進理工系科学研究科)

事業の実施体制

地域

- NPO法人ぷらっとほーむ小原
(代表:明木一悦)

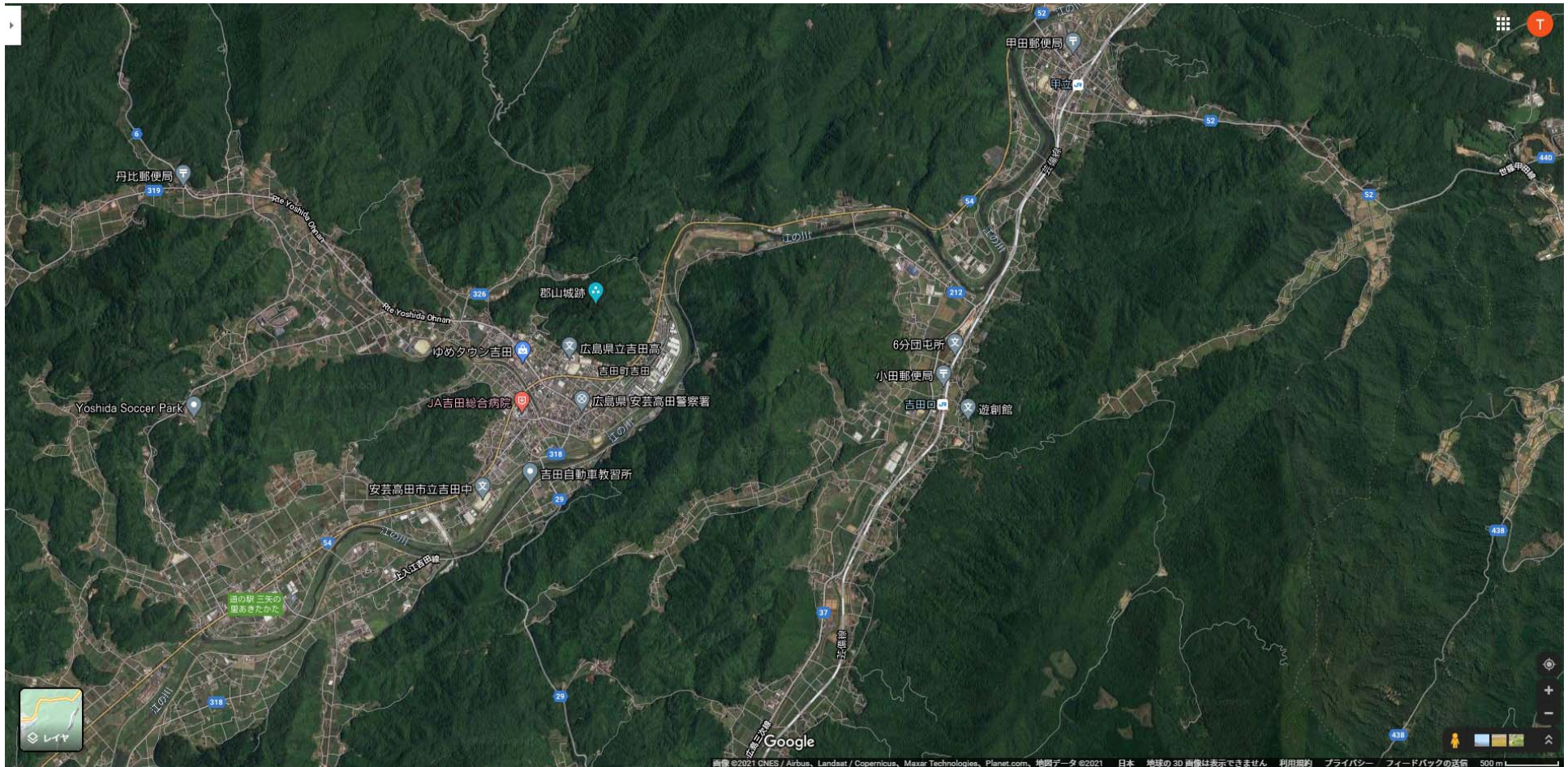
学生

- 先進理工系科学研究科 都市・建築計画学研究室 学生有志グループ(代表:城本大暉)

教員

- 田中貴宏(先進理工系科学研究科)

対象地(JR吉田口駅)



対象地(JR吉田口駅)



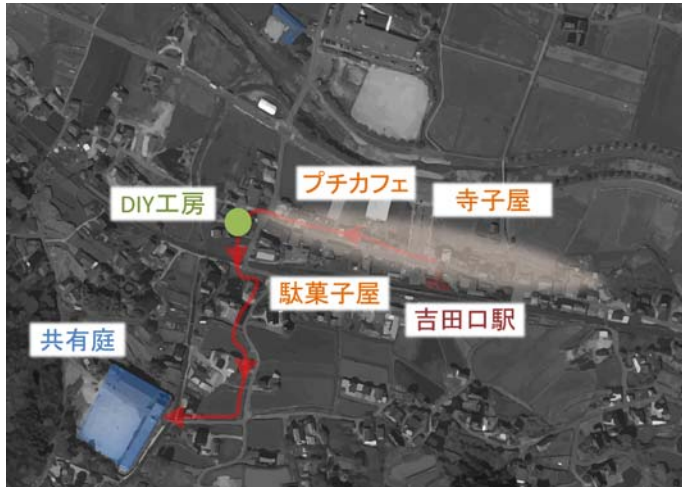
経緯

平成30年度「広島大学地域連携推進事業」



経緯

平成30年度「広島大学地域連携推進事業」

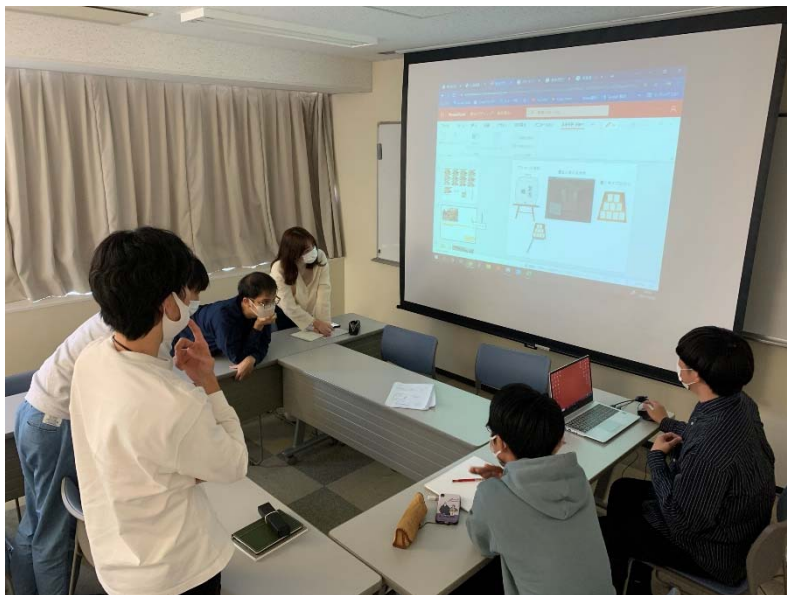


「憩いの場」の必要性

事業の背景

- 現在、中山間地域は、人口減少・高齢化等が進むと同時に、人々が日常的に集う場が減少。
- 地域活力の低下や、関係人口の減少など。
- 小原地域でも、地域の人々や、地域外から来訪する人々が気軽に集うことのできる「憩いの場」が求められている。

デザイン案の検討(昨年度)

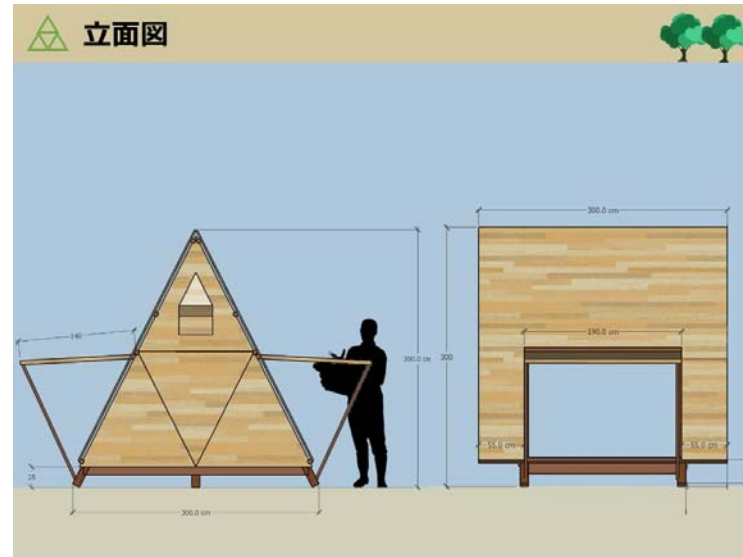
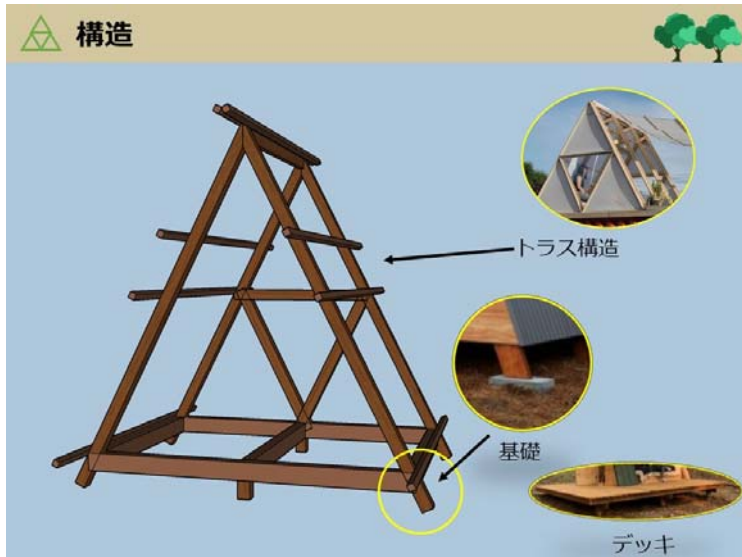


小屋のデザイン案発表会(昨年度)



模型を囲んだ議論

デザイン案



事業の目的

- 対象地：
地域の中心地であるJR芸備線吉田口駅周辺
- 目的：
「憩いの場」の創出
- 具体的には・・・
 - ① 「小屋」をつくる
 - ② 小屋周囲を憩いの場としてデザインする。



「憩いの場」づくり

材料加工



材料加工



材料加工



現場での組み立て(10月)



現場での組み立て(10月)



現場での組み立て(10月)



現場での組み立て(10月)



現場での組み立て(10月)



現場での組み立て(10月)



壁と屋根の作成(11月)



壁と屋根の作成(11月)



現場での組み立て(12月)



現場での組み立て(12月)



現場での組み立て(12月)





よかったこと

- **（大学・学術）**
「憩いの場」創出に向けた知見蓄積
→「憩いの場」づくりは、全国で課題とされている。本プロジェクトの実践成果は、広く都市計画・まちづくり分野の知見となる。
- **（今後にもむけて）**
まちづくり活動への展開
→本プロジェクトを通して、地域と広島大学が連携した形の新たなまちづくりを展開予定。